様式第3号	•					争 務争	莱評価表(1	で和り	3年度)								
事業コート	:	357			課コード	0501		会計種別	一般会計				予算の	種類 ■	■政策	■経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業						実施計画へ		• :	有 〇無	(2	部課名	健康福祉部	• 社会福祉課	
		③事業主体	個別事業 月	或年後見制 ○その他	度利用の支援		(4)対象地区	T	□ □ 我孫子	口天王台 □	湖北	□新木	□布佐	■全市			
(4) == alle lee ==		⑤事業期間	- C.I.	0 (0)	令和 2	年度 ~			⑥担当職員数				3 人	(換算人数			
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費			0 千円			当該(関始) 年度							,717 千円) 千円)	
		(人件費含む)									(変更後)		千円	(うち人件費			
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		33204	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし		基本計画地区別 計画への位置づけ		0;	有●無	i	部門別計画への 位置づけ	个護保険事業計画	i、障害者プ	
(2)目的		施策目的・				 なんでも相談室などの相談機能や です。また、高齢者の権利擁護を関											
(2)日町		展開方向	とともに、i)虐待の防止につい	て周知を進めます。				とができるよう	、権利擁護の仕組み	・の一つでも	る成年後見制度	の利用促進を	図る。			
			き、社会福祉	祉協議会の)「あびこ後見支援	第14条に基づき策定した「成年後 センター」、高齢者支援課、障	等と連携し	_		、障害福祉支援)普及及び利用促進に 経課、市民団体等と根	討するとま	もに、関係機関と	の連携強化を			
(3)事業内容			用が必要と			図る。生活相談担当窓口における 担当課と連携し、適切な制度利用	兄制度の不	当該年度 執行計画		生活相談におい	『発活動を実施すると ハて、市要綱に該当す				れた場合、担当詞	果と連携し、	
		内 容				で判断能力が十分でない状態にな			ī		は講座を実施し、市民	発見人の育	育成を図る。				
			要となってし	います。中	核機関の役割の一	ための中核機関の設置や地域連接 つである市民後見人の養成につい			ξ	市民後見人養成	፣講座受講者数			単位 人 規定値 実績値			
(4)達成目標(<u></u> 期待する成果)		り方や手法を	を見直し検	<u>討を図り推進して</u> 達成目標	いく。 (期待する成果)			指標種類				標		単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度		関係機関と連携し 市民後見人養成講				を実施するとともに体制整備につ	Oいて検討する。		直接	1	市民後見人養成	は講座の受講者数				0	
令和 4年度			、制度利用に	関する相談	と おりゅう とう	を実施するとともに体制整備にて	ついて検討する。		直接	1	後見候補者とし	,ての登録数					
令和 5年度			、制度利用に	関する相談	炎や普及・啓発活動	を実施するとともに中核機関を調	设置する 。		直接	1	後見候補者とし	ての登録数					
(7) 東要索佐 (上の課題と対応	普及啓発活動を	行うとともに、	、所管課	(高齢者支援課、障	雲福祉支援課、社会福祉課)及び	が関係団体、医療機関 が	連携し、成		=4		有 ●無					
(// 争耒夫施」	この課題と対応	年後見制度の利用 ・関係課及び団体	等と連携し、ī	市民後見人		通して、市民後見人の育成を図			1、任任条使	門							
		Titr :	令和 2年	度	A# (T III)	-L	令和 3年度	m\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	額(千円) 政			14年度	\d= (= m)	Thr:		5年度	A# (T P
		策: 生活相談担当と	内 容・関係機関との)連携強化		内容生活相談担当と関係機関との	予算額(千	円) 决算額	束	活相談	内 容 担当と関係機関		全額(千円) 0	策: 生活相談担	内 容 3当と関係機関	との連携強化	金額(千円)
		成年後見制度連		~	3	成年後見制度連絡会議旅費 成年後見制度利用促進研修旅		3	成	は年後見 に	制度連絡会議が制度利用促進の	で費	3	成年後見制	度連絡会議旅 度利用促進研	費	
		* 【政策】	5業業務委託 770			*【政策】				【政策】	人 17/11化延り		0	【政策】	CHI MEDE IVII		
		*: 「以東」 *: 市民後見推進事				* 【政策】 * 市民後見推進事業業務委託 163					推進事業業務委	話	959		進事業業務委	託	77
	実施内容	歳入		h&		歳入 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		歳		民後見推進事業	*補助全		歳入	· 後見推進事業	浦 助全		
(8)施行事項	費用	● 千条県市氏後兄 委託料×3/4	見推進事業補助金			千葉県市民後見推進事業補助金 委託料×3/4				· 亲宗市 · 託料×		· 補助並		委託料×3.			
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率		0 %	773	合計 補助率	0 %	0		助率	合 計	0 %	968 0	補助率	合 計	0 %	77
(9) 財源内訳	県支出金 起債	補助率 充当率		75 % 0 %	577 0		75 % 0 %	0		助率 当率		75 % 0 %	719 0	11.0 12 1		75 % 0 %	58
(9) 別源内武	一般財源 その他の財源	□特会 □受益	益 口基金 口谷	その他	196	□特会 □受益 □基金 □	0		□特会	会 口受益 口基金 口その他			249 0 □特会 □受益 □基金 □その他				
/10\ W ###	換算人数(人) 正職員人件費				0. 13 1, 131			. 53 717				•	0. 11 979				0. 1 97:
(10) 人件費等	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0					0				1
事業費(予算(決 (11)単位費用	算)額+正職員人件費))			1, 904	277.0~	·	889					1, 947				1, 758
(事業費/	/活動結果指標)	^	380.8千円	/ <u> </u>		977.8千円	<u> </u>										
	D評価(DO+CHECK	1						- 1									
P	平価項目	会後喜齢化が進み	認知症となる	ふ喜齢者σ		評 価 方の重度化・重複化等により、第	制度利用者の更なる増加	が多く	①事前確認での)相定ど		価(評価結果に応し	じ、改善案材	検討(拡充も含む 	3))		改善検討
(1) 東業力	が今必要である理由・	想される。成年後、	見制度の利用の	の促進に関	する法律第14条で	た。 で、市は成年後見制度利用促進に はか普及啓発活動を通した制度の記	努め〇	○ ○②事前確認での想定どおりでなかった							〇要		
	は?(事業の必要性)		を利用できるヨ	環境づくり	りを行う必要がある	。また、後見人の担い手不足も ³			想定どおりとし	た理由/	/想定どおりで	なかった原因>					〇不要
		●①民間企業、N				<その他の内容>			①早間企業 N	IPO 1	市民団体等でに	は実施できなかった	✓市宝施(の具体的な内容・	必要性の理由		_
必		(理由) ■法令等		ることが定		くての他の内容と			②市が主導で進	進めなけ;	れば実効性がな	いかった	へ中天池の	7共体的な内容。	必安任の珪田		
要		口その他						□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層 促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された									
性 (2) 市が手	関施する必要性は ♪?	O②自治体である				<その他の内容>										〇要 〇不要	
(市実	施の必要性)		施・提供するこ	ことにより	EX別性が待られる)、良質で安定した	:		1009-112500g ⑦その他 その他の内容>	てた (共和)	基盤が唯体でイ	uic					○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
		口市が支		-	施策の目標の			ての他の内容>									
		実現が[□その他	図られる						中长	1 de tre	の日仕せ	(DIA)					
		○○ = All = 1 = - ·	参加・協働			工夫の具体		10 H +-			の具体的な内容 られる場合には		0000		働の程度・内容	容	
参加		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に	市民の参画有	19		事業実施にあたっては後見活動 及び協議を行っている。	成共有					○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり					
市民の参	加や市民との協働を いるか?	○③管理・運営に ●④市民の自主的	的な活動と連携							<u> </u>			D③当初の期待以下 期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
働 (体制づく		〇⑤市民と共同で 〇⑥その他	き事業を実施									<期待した	と以上となった理	由/期待以下	であった原因>	〇不要	
工 夫		<その他の内容>															
		□①自然環境を生	配慮の初	見点 現点		取組む			実施した	た具体的な内容		O①想定		竟への配慮			
環	して事業を進めて	口②生き物と共有	すしている										どおりでなかっ どおりでなかっ	<i>t</i> =			
境への配慮 環境に配		□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減											<想定ど	おりでなかった原	(因)		〇要
配慮		■⑤その他															〇不要
		くその他の内容> 該当なし。															
		現況値(a)(人)	目標値(b)	(人)		目標値の妥当性のチェック	7		達凡			〇①目標値達成					+
(1)日堙型	段定は適切か?					タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない		実	実績値(f)(人)		i成率(%) f/b×100)	〇②目標値未達成					—— O要
(1)口标	へん・いんご グリル・:	0	5 □③現況値との		□③現況値との差が	表現住が足しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	る日標値(と用温値の学) }	X120 HZ (17 (X)		(f/b×100) <目標を達成した理		由/未達成	てとなった原因>			〇不要
		±1 http://	同等の水準で			ある	⇒ □ □水⊫ 、C ・坑汎恒の差	, _		F 177 12		〇①想定事業費未	帯		帯の地域に	-011-	
		対策実施によ 事業費(c)(千円)		額(d)	■①国・県助成制 <u>原</u>		I 等民間資本の活用		実施 養値(g)(千円)		事業費(%)	○①想定事業資本 ○②概ね想定事業 ○③想定事業費超	費以内	○①事前の想			
効 (2) 東業基	お削減のエナナリー		(千円) □②現有体制での □②維持管理费の		コ②現有体制での	対応 □⑥受益	者負担	美	吡啶(医/(十円)		g/c) × 100	○○応圧争未賀超	2-4		定どおりでな <i>た</i>	かった	
いるか	き削減の工夫をして ^?	4,889	△2,985 □④民間委託					< #	超過理由等>					<想定どおり肖	減できなかっ	た原因>	〇要 〇不要
性								`*	~~								
		Δ15	56. 78														
(3) 日煙症			目標値対事業			計算方法			達瓦			〇①目標値以上 〇②目標値と同程		値以上となった	理由/目標値り	以下であった原因	
投じる	量で失呪する為に る事業費は適正か? 対費用)	0.1		単位		D①単年度の指標:目標値×費用 D②複数年度の指標:(目標値-理		美費	実績値(h)		目標値(%) h/e)×100	〇③目標値以下	_				〇要 〇不要
口保	. 734/11/	0.1	人 10万円														
3. 事後評	平価																
〇現状どお	り推進 〇拡充	〇縮小	〇結合 (つ休止 評価コメ		事業手法見直し 〇その他(事業完了など)					고는 쏙 쓴 고	で展開ナナ				
				計画コメ	ンド							以晋朿及	び展開方向				
評							I										

事務事業評価表(令和3年度)

■ 事業	コード	1401			課コード	0501		会計種別	一般会計				予算0	の種類	□政策	■経常	口なし		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																		
1. ∉	工業の概要(PLAN)	I	基本事業	生活困窮者。	への自立支援				実施計画	• 0									
		①事業名		生活保護費績			美施計画を 位置づけ		•:	有 〇無		②部課名	健康福祉	止部・社会福祉課					
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他	(~	④対象地区 ⑥担当職員		□我孫子 □天王台 [□湖北	□新木							
(1)事業	概要	(7)事業費	(1)						(当 初)	2, 663,	<u>4 人</u> 447 千円	4 人 (換算人数 2.32 人) 7 千円 (うち人件費 20,648 千円)							
		(人件費含む)	総事業費			0 千円 当該 (開始) 年度 (変更後) 千円 (うち人件費								千円)					
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		34004	重点プロジェクト への位置づけ 重点なし				b区別 置づけ	0;	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名))			
(2)目的		施策目的・				 明自立を促進するため、生活に関す 果的に実施していきます。	実を図るとと	事業目			現定する理念を具体 の困窮の程度に応								
(2) [1]		展開方向				舌に困窮する世帯に対し、生活保証	護費(生活扶助、住宅	法助、教育技			もに、その自立	Zを助長します。 目初め)生活保護費			,	5 A B B B C V	I E WH C 100 C C		
			助、介護扶	助、医療扶助		主業扶助、葬祭扶助、保護施設事 ₮					・必要に応じ月	1 11回程度(15日 前後に、被保護者が	前後)生活	保護費の随時支		費用の支払いを行	う。(医療扶助費		
(3)事業	内容	内容	・保護の方	法として、st	金銭支給のほかに	ッ る。 - 一物品の給付、役務の提供等を行う。 - 的支援員による就労支援を行い、自立の助長を図る。			執行計員		、介護扶助費)	前後に、医療機関等							
						重症化予防のため、検診を促すなど、健康管理支援を行う。					・ICTインフ生活保護被保護	7ラ及び基幹システ 後世帯数	ム変更に伴	≚い、生活保護シ	値 1,200				
									当該年原 活動結果					単位 世帯 担定値 実績値					
	目標(期待する成果)	生活保護費の適正	た支給		達成目標	票(期待する成果)			指標種類		生活保護費支約	指 合率(実際支給した	標世帯/支給	さべき世帯)		単位 (5)現況値			
	年度 	生活保護費の適正							直接			帝率(実際支給した				% 1 %	00 100		
	4年度 5年度	生活保護費の適正							直接直接			合率(実際支給した				%	100		
						給総額も増額の傾向にある。事務i										70	100		
(7)事業	実施上の課題と対応	に基づいた適正な 自立の助長を図る		生活困窮者	自立相談支援担当	当と連携して、稼働能力のある被(-	保護者の就労支援を	継続して行い、	代替案検	能計	0;	有 ●無							
		Tile:	令和 24	年度	A# (7 m)		令和 3年度		= (~ m) III			□ 4年度 - ■ ■	A# (7 m)			令和 5年度	A# (7 m)		
		策 : 生活保護扶助費	内 容 		金額(千円)	政 内 容 策 生活保護扶助費		千円) 決算客 6,677	策:	生活保護	内 容 扶助費		金額(千円)	策 :	内 扶助費	容	金額(千円)		
		生活保護医療審		5H	528	生活保護医療審査嘱託医報酬		528			医療審査嘱託医	E報酬			医療審査嘱	託医報酬	528		
		消耗品費、印刷 通信運搬費、手			762 4, 145	消耗品費、印刷製本費 通信運搬費、手数料		846 4, 238	消耗品		、印刷製本費 費、手数料		84 4, 23		、印刷製本費、手数料	費	846 4, 238		
		レセプト点検業 生活保護システ	業務委託料 726 テム保守委託料 1,107 査委託料 9 テム使用料 2,049			レセプト点検業務委託料 生活保護システム保守委託料	ļ	1, 037 1, 107			点検業務委託料 システム保守委			1,037 レセプト点検業務委託料 1,107 生活保護システム保守委託料					
(8) 施行	実施内容	要介護認定調査 生活保護システ				要介護認定調査委託料 9 被保護者健康管理支援事業委託料 1,254 生活保護システム使用料 2,049 レセプト管理システム使用料 528					に調査委託料 健康管理支援事				定調査委託 健康管理支	料 援事業委託料	9 1, 254		
(0) (0)	^{事項}									生活保護システム(レセプト管理システ		 使用料	2, 04 52	28 レセプト	システム使 管理システ.	ム使用料	2, 049 528		
		パートタイム会 (事務補佐員)	報酬2人	職員	4, 220	パートタイム会計年度任用職 (事務補佐員)報酬2人	損	4, 368			マイム会計年度任用職員 補佐員)報酬2人		4, 36		イム会計年) 佐員) 報酬		4, 368		
		生活保護扶助費生活保護システ	ム改修委託料			【政策費】	. See also	150											
		生活保護システ 生活保護システ	テム備品購入費(9月初			* 生活保護システム設定業務委	計料	158											
	予算(決算)額 国庫支出金	: 	計	75 %	2, 686, 575 1, 983, 061	合計 補助率		2, 799 3, 383	: 2d	動率	合 計	75 %	2, 715, 96 2, 025, 00		合	計 75 %	2, 765, 964 2, 062, 500		
(0) = (県支出金	補助率		25 %	20, 175	補助率		2, 854	補	助率 記当率		25 % 0 %	22, 85			25 % 0 %	22, 854		
(9) 財源	内訳 一般財源 その他の財源	□特会□受益	益 口基金 口	その他	683, 339 0	□特会 □受益 □基金 □		6, 562			口受益 口基金	〕□その他	668, 1	10	口受益 口基	基金 □その他	680, 610 0		
(10)人(換算人数(人) 正職員人件費				2. 34 20, 358		·	2. 32 0, 648					1. 5 14, 15	51			0		
	鳴託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0						0			0		
(11)単化			1, 804. 62千F	 円/世帯	2, 706, 933	2, 219. 54千円		3, 447					2, 730, 1	15			2, 765, 964		
	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK	<u>'</u> ')																	
	評価項目				事前	丁評価		Т			事後評	価(評価結果に応	じ、改善案	医検討(拡充も含	t))		改善検討		
	評価項目				条に規定する理念	」 評 価 念を具体化するため、生活に困窮 のよりどころとしての役割を果た⁻			①事前確認で(②事前確認で(じ、改善案	ミ検討(拡充も含	さい)		改善検討		
	評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	な最低限度の生活 経済の低迷等によ 生活保護被保護世	を保障するこ る経済的要因 帯数の増加が	とであり、 、また高齢 予想される	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、家 なか、その役割に	念を具体化するため、生活に困窮 のよりどころとしての役割を果たっ 家族関係意識の希薄化などによる な益々重要なものとなっている。	すことである。	今後も	②事前確認で	の想定ど	゚おり ゚おりでなかった		じ、改善家	尽検討(拡充も含	た))		改善検討 〇要 〇不要		
	事業が今必要である理由・	な最低限度の生活 経済の低迷等によ 生活保護被保護世 また法定受託事務	を保障するこ る経済的要因 帯数の増加が であるため、	とであり、 、また高齢 「予想される 市に実施が	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、家 なか、その役割に 義務付けられてし	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果た家族関係意識の希薄化などによるはな本重要なものとなっている。いる。	すことである。	今後も <た	②事前確認では	の想定ど	おり おりでなかった /想定どおりで	なかった原因>					O要		
	事業が今必要である理由・	な最低限度の生活 経済の低迷等によ 生活保護被保護世 また法定受託事務 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	を保障するこ る経済的要因 帯数の増加が であるため、 IPO、市民E で市が実施す	とであり、 る。 また高齢 では実施が 一面体等では実 ではま ではま	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、愛 なか、その役割に 義務付けられてし 実施できない	念を具体化するため、生活に困窮 のよりどころとしての役割を果たっ 家族関係意識の希薄化などによる な益々重要なものとなっている。	すことである。	今後も	②事前確認で(限定どおりとし ①民間企業、 ②市が主導で;	の想定ど ンた理由ン NPO、 進めなけ	おりでなかった / 想定どおりで 市民団体等でに れば実効性がな	と なかった原因> は実施できなかった なかった		を検討(拡充も含 が を を の具体的な内容		理由>	O要		
必 要	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	な最低限度の生活 経済の低迷等によ 生活保護被保護世 また法定受託事務 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	を保障するこ る経済的要因 帯数の増加が であるため、 IPO、市民E で市が東にないな 体が市しかな	とであり、 る。 また高齢 では実施が 一面体等では実 ではま ではま	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、愛 なか、その役割に 義務付けられてし 実施できない	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果た家族関係意識の希薄化などによるはな本重要なものとなっている。いる。	すことである。	今後も < **	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業、 ②市が主導で ③市が先導役 促進された	の想定ど ンた理由ン N単の、けた	おりでなかった 才想定どおりで 市民団体等では れば実効性がな ことで市民へ普	となかった原因> なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層				理由>	O要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか?	な最低限度等に上 経済の低迷等によ 生活保護被保護世 また法定受託事務 ●①民間企業、 (理由) ■法令等 □提供主 □その他	を保障すること を経済的増加が、 IPO、市民にする で市が市市にない で体がが推進する	とであり、 1 は、また高齢 パ予想される。 市に実施が 団体等ではま ることが定い べきである	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、別 なか、その役割に 義務付けられてし 関節できない められている	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果た家族関係意識の希薄化などによるはな本重要なものとなっている。いる。	すことである。	今後も - <table 1<="" border="1" td="" =""><td>②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業。 ②市が生海でを 促進されたが では、 後間では、 のでは</td><td>の た N進と 政準 アめな 策が で A で A で B で B で B で B で B で B で B で B</td><td>おりおりでなかった を記している。 を記しているでいる。 を記しているでいるでいる。 を記しているでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでい</td><td>なかった原因> なかった原因> は実施できなかった なかった き及が一層 見に貢献した</td><td></td><td></td><td></td><td>理由></td><td>O要 O不要</td></table>	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業。 ②市が生海でを 促進されたが では、 後間では、 のでは	の た N進と 政準 アめな 策が で A で A で B で B で B で B で B で B で B で B	おりおりでなかった を記している。 を記しているでいる。 を記しているでいるでいる。 を記しているでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでい	なかった原因> なかった原因> は実施できなかった なかった き及が一層 見に貢献した				理由>	O要 O不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は	な最低限度の生活よ生活保護世またよこのでは、 ●①民間企業、ト (理由) ■ 提供の他 ○②自治体である (理由) □市が主	を保障すり増加を を経済の増加を 下である。 IPO市が市が はではがが ではがが ではがが ではがいましい ではがが ではがいまする。 ではずいまする。 ではずいまする。 ではずいまする。 ではずいまする。 ではずいまする。 はいまる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまる。 はいな。 はる。 はる。 はる。	とであり、 はまたされがいます。 市に実施がいます。 であることがは定じます。 ではまながいます。 はなことがなった。 ことによりいる。 ことによりいる。	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、別 なか、その役割に 義務付けられてし 関節できない められている	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業。 ②市が生海でを 促進されたが では、 後間では、 のでは	の想を 理 ロン トース 単安 ロック アル アル アル アル の で が で は で が で は 保給	おりでなかった 対定とおりで 市民団体等では れば実効性がな ことで市民へ音	なかった原因> なかった原因> は実施できなかった なかった き及が一層 見に貢献した				理由>	〇要 〇不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか?	な最低限度等の生活よ生活よと生活保護世務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をる 保障 保障 な で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は で は ま で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま も で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は ま で は で は で は で は で は で は で は で は で は に で は で は で は で は に に に に に に に に に に に に に	とであた高へいいます。 は、またされが、 であた高本市に実ではない。 では、またがにまいる。 では、またがにまいます。 である。までは、ことにといる。 では、ことにといる。	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、ま なか、その役割に 義務付けられてし を施できない められている 効性が得られる	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(原定どおりとし ①民間企業。 ②市が主導役 の市の支援がは、 ④市の支援がは、 ⑤サービススの・ ⑦ナー他	の想を 理 ロン トース 単安 ロック アル アル アル アル の で が で は で が で は 保給	おりおりでなかった を記している。 を記しているでいる。 を記しているでいるでいる。 を記しているでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでい	なかった原因> なかった原因> は実施できなかった なかった き及が一層 見に貢献した				理由>	O要 O不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか?	な最低限度等の生活よ生活よと生活保護世務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を を を を を を を を を を を を を を	とであり、	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた		近の具体的な内容	・必要性の		O要 O不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか?	な最低限度の生活よ生活は世界では、 を表示保護を発す。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を る 要加 か に で か で は で か で は で か で か で か で か で か で か	と、 で か と と と と と と と と と と と と と と と と と と	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おりでなかった を受ける。 を使いる。 を使いるを使いる。 を使いるを使いるを使いるを使いるを使いるを使いるを使いるを使いるを使いるを使いる	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	<市実施 〇①当	画の具体的な内容 参加・ 初期待した以上	・必要性の:		O要 O不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか?	な最低の低速等保護・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を名称で IPで体 市導施ス状図 中流のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と、予市 はない べとこと りの内 有有有有の いま想に 体なこ できにと り の内 りりり りゅうしょ 策 でんぱ ない きにと ない は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	<市実施	恋の具体的な内容	・必要性の:		○要 ○不要 ○不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	な最低限度と表示として、	をる帯で P P 市が市 が進提保留 を R 関	と、予市 はない べとこと りの内 有有有有の いま想に 体なこ できにと り の内 りりり りゅうしょ 策 でんぱ ない きにと ない は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当	を加・ 初期待した以上 初期待したとお 初初時したとお 初初明待したとお	・必要性の:		〇要 〇不要 〇不要		
必要性(2)参加・協學	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	な話には、	を名称で P P 市が市 が進提保留 を R E P 市が市 が 推め 供証こる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	と、予市 はない べとこと りの内 有有有有の いま想に 体なこ できにと り の内 りりり りゅうしょ 策 でんぱ ない きにと ない は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当	を加・ 初期待した以上 初期待したとお 初初時したとお 初初明待したとお	・必要性の:	・内容	〇要 〇不要 〇不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	な最低限度と表示として、	を名称で P P 市が市 が進提保留 を R E P 市が市 が 推め 供証こる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	と、予市 はない べとこと りの内 有有有有の いま想に 体なこ できにと り の内 りりり りゅうしょ 策 でんぱ ない きにと ない は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は でんかい は しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R進と 政準安 い い に に に に に に に に に に に に に	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当	を加・ 初期待した以上 初期待したとお 初初時したとお 初初前待したとお	・必要性の:	・内容	〇要 〇不要 〇不要		
必 要 性 (2)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	な話には、	を名称で I P 市が がで I P 下が が で I P 市が がで I P 下が が で I P 下が す こるれに 協 画画画連 I M 画画画画 I M I M	と、予市 団るい べとこんよ 動 有有有携 のたま想に 体こ でが ありに	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R A A B A B A A A A A A A A A A A A A	おり おりでなかった /想定どおりで 市民団体等では のはば実効性がか まとで市民の実現 まされた 基盤が確保され の具体的な内容	なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容)	<市実施 ○①当 ○②当 <期待し	参加・ 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 、た以上となった	・必要性の:	・内容 以下であった原区	〇要 〇不要 〇不要		
必要性 参加・協働の工夫 環境	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	なまました。 「理由」 □ 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	をる帯で P r f r f r f r f r f r f r f r f r f r	と、予市 団るい べとこんよ 動 有有有携 のたま想に 体こ でが ありに	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たる 家族関係意識の希薄化などによるは ま益々重要なものとなっている。 いる。 〈その他の内容〉	すことである。社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R A A B A B A A A A A A A A A A A A A	おりおりでなかった /想定どおりで 市民団体等では 市れば実効市民 策の目標の実現 まされた なれた の具体的な内容 られる場合には	なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容)	<市実施 ○①当 ○②当 <期待し	参加・ 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった	協働の程度 リ 理由/期待	・内容 以下であった原区	〇要 〇不要 〇不要		
必要性 参加·協働の工夫 環境へ 環境へ	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	な話には世務 「	をる帯で I で体 i 中導施ス援図 では、 E では、 i 中域に	と、予市 団るい べとこんよ 助 有有有携 のたま想に 体こ でが ありよ	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たる 家族関係意識の希薄化などによるは ま益々重要なものとなっている。 いる。 〈その他の内容〉	すことである。社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・ 関定 どおりとし ・ 「良居間企業 導き では、	の た R A A B A B A A A A A A A A A A A A A	おりおりでなかった /想定どおりで 市民団体等では 市れば実効市民 策の目標の実現 まされた なれた の具体的な内容 られる場合には	なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容)	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当 < 期待し ○①想 ○②想	参加・ 初期待した以上 初初の期待したとお 初の期待以下 た以上となった	協働の程度 理由/期待	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要		
必要性参加・協働の工夫環境へ	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	な経生生ます。 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をる帯で I で体 i 中導施ス援図 では、 E によりでは、 E により	と、予市 団るい べとこんよ 助 有有有携 のたま想に 体こ でが ありよ	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たる 家族関係意識の希薄化などによるは ま益々重要なものとなっている。 いる。 〈その他の内容〉	すことである。社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・ 関定 どおりとし ・ 「良居間企業 導き では、	の た R A A B A B A A A A A A A A A A A A A	おりおりでなかった /想定どおりで 市民団体等では 市れば実効市民 策の目標の実現 まされた なれた の具体的な内容 られる場合には	なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容)	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当 <期待し ○①想 ○②想	参加・ 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった	協働の程度 理由/期待	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性 参加·協働の工夫 環境へ 環境へ	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	な話よ世務 「等主他 を主実ご支が他 できている 「日本 では、 「日	をる帯で I で体 i 中導施ス援図 では、 E によりでは、 E により	と、予市 団るい べとこんよ 助 有有有携 のたま想に 体こ でが ありよ	条に規定する理念 国民生活の最後の 化、核家族化、製 なか、その役割に 義務付けられてい 製施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たる 家族関係意識の希薄化などによるは ま益々重要なものとなっている。 いる。 〈その他の内容〉	すことである。社会的要因に起因し、	○ 今後も <* □ □ □ □ □ □	②事前確認で(・ 関定 どおりとし ・ 「良居間企業 導き では、	の た R A A B A B A A A A A A A A A A A A A	おりおりでなかった /想定どおりで 市民団体等では 市れば実効市民 策の目標の実現 まされた なれた の具体的な内容 られる場合には	なかった原因> ななかった原因> な実施できなかった をなかった をなかった をなかった をなかった をなかった をながった をない を表した ない をない ない な	<市実施 ○①当 ○②当 ○③当 <期待し ○①想 ○②想	参加・ 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった	協働の程度 理由/期待	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性 参加·協働の工夫 環境へ 環境へ	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) その参加や市民との協働を 制づくり)	な経生生まして、	をる帯で I で体 i 中導施ス援図 では、 E によりでは、 E により	と、予市 は定 の	条に規定する理念 国民生活家族化ます。 国民生活家族化ません。 大けられている を施ったでいる が、付きない。 が、付きない。 が、で。 が、で。 が、できない。 が、できない。 が、できない。 が、できない。 が、できない。 が、できない。 が、できない。 が、。 が、でを、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。社会的要因に起因し、	○ - - - - - - - - - -	②事前確認でしています。 限定どおりとしています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の た R A B B C C C C C C C C C C C C C	おりおりでなかった を受ける。 を受ける。 をできないで をできないい をできないで をできないで をできないで をできないで をできないい をできない	なかった原因> は実施できなかった なかった 音及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容)	< 市実施 ○①当当 ○②当当 < 期待し ○②想 < 想定と	参加・ 初期待した以上 初初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった	協働の程度 理由/期待	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 ポンプ	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) その参加や市民との協働を 制づくり)	な話ま世務	を名帯で P r f r f r f r f r f r f r f r f r f r	、P市 団るい べとこと り 内 有有有携 でが ちょと り い m 有有有携 でが ありに 政 な の りりりして いきにと り の 内 りりして いるりい ない ない とこと り の 内 し し し し し し し し し し し し し し し し し し	条に規定する理念の理念を国民生活家をのいた。 国民生活家をのいた。 を関係していた。 を関係していた。 を関係していた。 を関係していた。 ののは、	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たす家族関係意識の希薄化などによるは	すことである。社会的要因に起因し、	○ - - - - - - - - - -	②事前確認でしています。 まず は いっぱい とし は でき は いっぱい とし でき は でき は でき は でき	の / Number Num	おりおりでなかった /想定どおりで 市民団体等では 市れば実効市民 策の目標の実現 まされた なれた の具体的な内容 られる場合には	なかった原因> ななかった原因> な実施できなかった なかった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 その内容)	<市実施 ○①当当 <期待し ○②担想 <想定と	参加・ 参加・ 初期特した以上 初初期待したとおい 初初の期待以下 た以上となった 定どおりでなかった	協働の程度 理由/期待	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 ポンプログラ は で	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) にの参加や市民との協働を としているか? 制づくり)	な経生ます。	をる帯で I で体 「中障化ス接図 では、	と、予市 団るい べとこるよ 助 有有有携 でお ちられ	条に規定する理念の理念の理念を国民生活家を受ける。 国民生活家族化のおいるを表現である。 を関係している。 を関係している。 対象には、するでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たるよりところとしての役割を果たる家族関係意識の希薄化などによるは立立る。 〈その他の内容〉 【天の具体 工夫の具体 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが象が有る場合、比較対象例におけある	すことである。 社会的要因に起因し、	○ 今後も	②事前確認でしています。 (2) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (の た R A A B A B A B A B A B A B A B A B B A B B B B B B B B B B B B B	おりおりでなかった /想定どおりで 市れば実が民民 実現 特性がな ではない では、 実現 は では では では では でいます は でいます に は は でいます に は に に でいます に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	なかった原因> は実施できなかった まみが一層 現に貢献した れた (又は今後、 その内容) (マは今後、 その内容)	< 市実施 O(1)当当 (別待し O(2)当当 (別待し O(2)想: (想定と	参加・ 参加・ 初初期待したた以下 た以上となった 定定どおりでなかった ごまりでなかった	協働の程度 理由/期待 環境への配慮 った 原因>	・内容以下であった原因	○要 ○不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要		
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 ポンプログラ は で	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) にの参加や市民との協働を としているか? 制づくり)	なには、	をる帯で I で体 「中障化ス接図 では、	と、予市 団るい べとこるよ 助 有有有携 でま想に 体こ でが ありよ 策 のりりして いきにと り 内 りりり ていきにと な の りりり ているり (%)	条に規定する理念 経国民生する最後の またい、 を国民生活家をのらい。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	念を具体化するため、生活に困窮のよりどころとしての役割を果たるよりところとしての役割を果たる家族関係意識の希薄化などによる。かる。 〈その他の内容〉 【天の具体 工夫の具体 取組む 取組む 「関標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではないがからい値ではないがある場合、比較対象例におけある 実施予定の対策	すことである。 社会的要因に起因し、	今後も < t	②事前確認では、 限定どおりとし、 ②には、 ②には、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ③では、 ③では、 ②では、 ③では、 ④では、 ③では、 ④では、 ●で	の た Z進と 政準安 〉 nu が 実 k 状 定 h)、C X進と 政準安 〉 nu が 実 k k 状 定 h)、C X 進と 政準安 〉 nu が ま y k k k k k k k k k k k k k k k k k k	おりおりでなかった /想定どおりで 市れば実が民民 実現 特性がな ではない では、 実現 は では では では では でいます は でいます に は は でいます に は に に でいます に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	なかった原因> ななかった原因> なまなかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまする はいまする は	< 市実施	参加・ 参加・ 初初期待したた以下 た以上となった 定定どおりでなかった ごまりでなかった	協働の程度 理由/期待 環境への配慮 った 原因>	・内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 足の参加や市民との協働を もしているか? 制づくり)	な経生生活と、	を名帯で P 市 市 市 か が で が す ら ず に な が す に な が す に な か で よ で は し に て で ま で ま で ま で は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	、P市 団るい べとこんよ 助 有有有携 でま想に 体こ でい きにと り 内 りりして からして 政策 でん ありよ 政策 の りりして いっこん は 文字 りょう でんしょう かんしょう は でん は で	条に規定する理念の理念を 国民生生素を 国になる表 をいいる をいいる をいいる をいいる をいいる のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしての役割を果たるよりところとしての役割を果たる家族関係意識の希薄化などによる。かる。 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 【大の具体 取組む 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している。がかきる場合、比較対象例におけるる。 「食河中下の対策を展活用対応	すことの 大内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな はと 現況値の である はままま できまま できまま できまま できまま かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	今後も < t	②事前確認でしています。 (2) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (の た Z進と 政準安 〉 加動	おり おりでなかった / 想定 どおりで 市れば実 が	なかった原因〉 は実施できなかった は実施できなかった をかった を放が一層 現に貢献した れた 〇①目標標値達成 〇②目標標値未達成 〇②目標を達成した	< 市実施	参加・ 初期特したとおり 初期特待した以下 た以上となった 定定どおりでなかった きおりでなかった がなかった の(1事前の) ○(2事前の)	協働の程度 は動の程度 は対	・内容 以下であった原因 対策について でなかった	○要の不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) にの参加や市民との協働を としているか? 制づくり)	な経済には で	を名帯で P 市 が が で i 中 で i	、	条に規定する理念の理念の理念の理念の理念の理念を国化、か、付きない。 (本) は	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしての役割を果たるよりところとしての役割を果たる家族関係意識の希薄化などによる。かる。 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 【大の具体 取組む 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している。がかきる場合、比較対象例におけるる。 「食河中下の対策を展活用対応	すことの 大内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな はと 現況値の である はままま できまま できまま できまま できまま かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	今後も (本)	②事前確認では、 限定どおりとし、 ②には、 ②には、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ②では、 ③では、 ③では、 ②では、 ③では、 ④では、 ③では、 ④では、 ●で	の た Z進と 政準安 〉 加動	おりでなかった 才想定とどおりで 市民団体等がた ではないでは、 市民はまでの目標の対象では、 の具体的な体場合には た具体的のな内容 を見体をできる。 たりには、 を見ばないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないできるないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないでは、 を言うないで	なかった原因> ななかった原因> なまなかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまする はいまする は	< 市実施	参加・ 初期特したとおり 初期特待した以下 た以上となった 定定どおりでなかった きおりでなかった がなかった の(1事前の) ○(2事前の)	協働の程度 は動の程度 は対	・ 内容 以下であった原区	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) その参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて るか?	な経生生活と世務 「等年性他 るままに支持を保護 で 100 「100 「100 「100 「100 「100 「100 「10	を名帯で P 市市市な事	、	条に規定する最後の 等国化な教務でいる。 を取り、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしての役割を果たるよりところとしての役割を果たる家族関係意識の希薄化などによる。かる。 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 【大の具体 取組む 取組む 取組む 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している。がかきる場合、比較対象例におけるる。 「食河中下の対策を展活用対応	すことの 大内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな 内容 からな はと 現況値の である はままま できまま できまま できまま できまま かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	今後も (本)	②事前確認の (記では) とし (記では) とし (記では) とし (記では) とし (記では) ま (記では) ま (記では) で (記では) に	の た Z進と 政準安 〉 加動	おりでなかった 才想定とどおりで 市民団体等では、 市民はまでの目標の対性が、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	なかった原因> ななかった原因> なまなかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまかった はまする はいまする は	< 市実施	参加・ 初期特したとおり 初期特待した以下 た以上となった 定定どおりでなかった きおりでなかった がなかった の(1事前の) ○(2事前の)	協働の程度 は動の程度 は対	・内容 以下であった原因 対策について でなかった	○要 ○不要 ○		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) その参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて るか?	な経生生まして、	を	にと、予市 するい べとこるよ 助 有有有携 でま想に 体こ でもい きにと り のりりりして ま想に 体こ でとこるよ り のりりりして いきにと り のりりりして しゅん のりりして しゅん のりり しゅうしゅう しゅう	条に規定する最後の 等国化な教務でいる。 を取り、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	念を具体化するため、生活に困窮のよりとできるとしてある。のよりとでき、一般を表しているのできまでである。とくその他の内容> 「「「「「「「「「」」」」 「「」 「「」 「 「	すことの 内容 ク	今後も (本)	② 東 前 確 記 り と し	の た Z進と 政準安 〉 nu が 実 成 状 淀 は が は で は が ま で は が ま で は が ま で で は が ま で で は が ま で で は が で は か ま で で は か ま で で は か ま で で は か ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	おりでなかった 才想定とどおりで 市民団体等では、 市民はまでの目標の対性が、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	なかった原因〉 ななかった原因〉 なままなかった はまかった はまかった にまるが、一層 見に 直献した いた (又は今後、 への内容) 日標標値達未 成成 成成 成成 できまれ できなかった の(②) 目標標値達未 した (〇) ②割 想定 事業 定費 起 (○③) 想 記 想 表 書 表 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	< 市実施	参加・ 初初期待した以下った した以下った した以下った りりでなかった どおりでなかった ごだおりでなかった で変とがいてなかった の(2)事事のの く想定とおり	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった かった原因>	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で		
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 (2) 市工(体 環い (1) (2) (3) (3)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) この参加や市民との協働を しているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて らか? 目標設定は適切か? 事業費削減の工夫をしているか?	な経生生まして、	を名帯で P 市市市な事	と、予市 可るい べとこるよ 助 有有有携 で が ありに	条に規定する理像の ・ は に は に な に な と と と に れ に の が は に な と と と と と と と と と と と と と と と と と と	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしての役割を果たるよりとである。 「	すことの で 内容	今後も	② 東前確 は りとし ・	の た Z進と 政準安 h u m が 実 k 成 状状 c l l l l l l l l l l l l l l l l l	おり おりでなかった /想定どおりで 市れごなで 情報 所にはまで 情報 のられた はまな かな 内容 を はな 本 は な は な 内容 た具体 的な 内容 た 具体 の は は な で は な 本 と か な 内容 に な で に な と か と か と か と か と か と で に な と か と か と か と か と で に な か と か と で か	なかった原因〉 は実施できなかった またのが一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容)	<市実施	参加・ 初初期待した以下った した以下った した以下った りりでなかった どおりでなかった ごだおりでなかった で変とがいてなかった の(2)事事のの く想定とおり	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった	○		
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 (2) 前工(体 環い。 (1) (2) (3)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) の参加や市民との協働を もしているか? 制づくり) 着に配慮して事業を進めて たか?	な経生生まして、	を名帯で 1 で体 市 停施	と、予市 するい べとこるよ 助 有有有携 でま想に 体こ で とこるよ り の りりりして ま想に 体こ で さにと り の りりりして いきにと り の りりりして しょこるよ し	条に規定する理像の ・ は に は に な に な と と と に れ に の が は に な と と と と と と と と と と と と と と と と と と	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしてのという。	すことの で 内容	今後も	② 東 前 確 記 り と し	の た Z進と 政準安 h u m が 実 k 成 状状 c l l l l l l l l l l l l l l l l l	おり おりでなかった /想定 どおりで 市れに関連 市れに まさ まさ まさ まさ を の 日本等では で で で で で で で で で	なかった原因〉 ななかった原因〉 な実施できなかった をなかった を表して できなかった を表して できなかった を表して できなかった を表して のの内容 のののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のの	<市実施	参加・ 初初期待した以下った した以下った した以下った りりでなかった どおりでなかった ごだおりでなかった で変とがいてなかった の(2)事事のの く想定とおり	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった かった原因>	○ 要要 ○ ○ 要要 ○ ○ 要要 ○ ○ である。 ○ で。 ○ である。 ○ で。 ○ で。 ○ で。 ○ で。 ○ で。 ○ で。 ○ で。 ○ で		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市工(体 環い (1) (2) (3)	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) この参加や市民との協働を しているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて らか? 目標設定は適切か? 目標である為に 投じる事業費は適正か?	な経生生活と世務 「等生他 を生産 「	を名帯で 1 で体 市 停施	にと、予市 団るい べとこるよ 助 有有有携 でま想に 体こ で が より い の りりり て で ま想に 体こ で で が ありよ な 策 の りりり て で ましま () () () () () () () () () (条に規定する理念の理念の理念を を国民生活家をのられい。 を関係している表別である。 を関係している表別である。 のののでは、のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の	念を具体化するため、生活に困窮のよりところとしての役割を果たるよりとである。 「	すことの で 内容	今後も	② 東前確 は りとし ・	の た Z進と 政準安 h u m が 実 k 成 状状 c l l l l l l l l l l l l l l l l l	おり おりでなかった /想定どおりで 市れごなで 情報 所にはまで 情報 のられた はまな かな 内容 を はな 本 は な は な 内容 た具体 的な 内容 た 具体 の は は な で は な 本 と か な 内容 に な で に な と か と か と か と か と か と で に な と か と か と か と か と で に な か と か と で か	なかった原因〉 は実施できなかった またのが一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容) (本の内容)	<市実施	参加・ 初初期待した以下った した以下った した以下った りりでなかった どおりでなかった ごだおりでなかった で変とがいてなかった の(2)事事のの く想定とおり	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった かった原因>	○		
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3.	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) この参加や市民との協働を しているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて らか? 目標設定は適切か? 目標にも事業費は適正か? 目標値を実現する為に 投じる事業費用)	な経生生活と出来 (理由) □ (理由) □ (2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	を	Color	条に規定する最後、割には (1) を (1)	念を具体化するため、生活に困窮のよりとによりとしてもとしての役割を果たするに、 家族関係意識の希薄化などによる。なかる。 〈その他の内容〉 〈をのはていない。 〈はていない。 〈はいない。 〈はいないないない。 〈はいないないない。 〈はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	すことの で 内容	今後も	② 東前確 は りとし ・	の た Z進と 政準安 h u m が 実 k 成 状状 c l l l l l l l l l l l l l l l l l	おり おりでなかった /想定どおりで 市れごなで 情報 所にはまで 情報 のられた はまな かな 内容 を はな 本 は な は な 内容 た具体 的な 内容 た 具体 の は は な で は な 本 と か な 内容 に な で に な と か と か と か と か と か と で に な と か と か と か と か と で に な か と か と で か	なかった原因> なかった原因> は実施できなかった またのが一層 見に できながった のできた のできなかった はなかった のできなかった のできながった のできながったができなができなができなができなができなができなができなができなができなができな	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	参加・ 参加・ をたたいないたとしています。 をたといったというでないった。 を定どおりでないった。 ではいったがでないった。 では、となった原因 事前のの く 想定となった。	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった かった原因>	○		
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) この参加や市民との協働を しているか? 制づくり) 信に配慮して事業を進めて に配慮して事業を進めて に記慮して事業を進めて に標決でする適正か? 目標値を実現費は適正か? 目標値を実現費はで (目標対費用)	な経生生活と出来 (理由) □ (理由) □ (2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	を	Record	条に規定する最後、割には (1) を (1)	念を具体化するため、生活に困窮のよりとによりとしてもとしての役割を果たするに、 家族関係意識の希薄化などによる。なかる。 〈その他の内容〉 〈をのはていない。 〈はていない。 〈はいない。 〈はいないないない。 〈はいないないない。 〈はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	が 内容	今後も	② 東前確 は りとし ・	の た Z進と 政準安 h u m が 実 k 成 状状 c l l l l l l l l l l l l l l l l l	おり おりでなかった /想定どおりで 市れごなで 情報 所にはまで 情報 のられた はまな かな 内容 を はな 本 は な は な 内容 た具体 的な 内容 た 具体 の は は な で は な 本 と か な 内容 に な で に な と か と か と か と か と か と で に な と か と か と か と か と で に な か と か と で か	なかった原因> なかった原因> は実施できなかった またのが一層 見に できながった のできた のできなかった はなかった のできなかった のできながった のできながったができなができなができなができなができなができなができなができなができなができな	<市実施	参加・ 参加・ をたたいないたとしています。 をたといったというでないった。 を定どおりでないった。 ではいったがでないった。 では、となった原因 事前のの く 想定となった。	協働の程度 機力 アン 乗想想 削減がりりない また アン 乗りませる できない できない きょう はい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	・内容 以下であった原因 対策について でなかった かった原因>	○		

^{镁式第3号} ———————							— 争 赘 ———	}事業評値 	五表 (令利 ————	」3年度) ———									
事業コード		1645		詞	課コード		0501		会計種	別一般会	it			予算0	の種類	■政策	■経常	□なし	
1. 事業の概要(PL	_AN)																		
	①事業:	g.	基本事業 自	段対策事業	業の進行管理					実施計			有 〇無		②部課名	健康福祉	・部・社会福祉課		
					業の進行管理					位置									
	③事業: ⑤事業:		●市	〇その他		1 2年度	~) ④対象地I ⑥担当職!		□我孫子		3 人	──□新木 ── (換算人数	□布佐	●全市 0.51 人)		
(1)事業概要	⑦事業:	費	総事業費		1145	1 2 1 2 1 						(当 初)	4,	833 千円	(うち人件費		4,539 千円)		
	(人件費	(含む)	松争未复				7			当該(開	百) 年及	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)		
	8施策(の位置づけ	施策 コード		34004		重点プロジェ への位置づ		重点なし	基本計画計画への		. 0)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)			
(0) E 45	施策	目的・											法及び自殺総合対策						
(2)目的		開方向					していきます。			事業	ョ的	の横断的な連携	り5か年計画)に基 携を図り、自殺者の	D減少を目指	す。	して、関係	機関や庁内関係課	と目殺防止事業	
			(2) 自殺	对策庁内選	連絡会議を通じ	じ、地域の自		対策事業について作	情報の共有化を図る	5。 当該		(2)自殺対策	策協議会による計画 策庁内連絡会議によ	よる横断的な		隽強化			
(A)		_	(3) ゲー	-トキーパー	一 (命の門番)		理や情報提供など調整を行う。 研修や相談窓ロ一覧等啓発用物品の作成・配布等、自殺予防に関する 段対策計画で掲げた、みんながゲートキーパーのまち「我孫子」を目					・ゲー	策に関する啓発活動 トキーパー養成研修	多を実施する					
(3)事業内容	Р	容	【政策】我孫		ちを支え合う自								用印刷物を各種講演		ひ公共機関窓口	等に設直する	ò.	_	
			識を深める。	講師は企業	業や団体でのた	カウンセラー	発光記画に対けて、かいるが、一般に対して、からなら、北京リコと、春死念庫や自殺企図を抱えた方の心理状況や対処法等の自殺予防の知り、ウンセラー等)を職員講師に切替え出前講座を実施するとともに、自				年度 果指標	ゲートキーバ-	一研修会の開催回数	女		単	位 回 想定值 実績値		
(4)達成目標(期待する成	果)		殺者数が増加	傾向にある	<u>るため啓発・周</u> 達成目	<u>問知の強化を</u> 目標(期待する				指標和			指	標		単	位 (5)現況値	(6)目標値	
当該年度	ハイリ	スク者の身边	iな人や行政窓	口全体で、	、ゲートキー/	《一の役割を	果たせるように、	啓発や研修会なん	どを実施する。	直		研修会等に参加合(%)	加して、自殺予防	(対策)に関	する知識を高めた	こ人の割 9	% 0	95	
令和 4年度	ハイリ	スク者の身边	iな人や行政窓	『口全体で、	、ゲートキーノ	《一の役割を	果たせるように、	啓発や研修会なん	どを実施する。	直拍	 淁	研修会等に参加合(%)	加して、自殺予防	(対策)に関	する知識を高めた	こ人の割 9	%	100	
令和 5年度	我孫子	市の自殺死亡	≐率(人口10万	i人あたりσ	の自殺者数) <i>の</i>	D減少				直			16.8(2014年~201	6年の平均)	から14.3(2020年	∓~2022		14. 3	
(7)事業実施上の課題と対							れの要因に応じた		する必要がある。 ・業務として受け」	上める 代替案	2拾計)有 ●無						
(バ) 事未失肥工の訴題とだ		時つことが重	重要である。		1 2 0 000018	工元洋(こる	より、日秋ド別ろ			_0/6	/1×11						10 F to th		
	政		令和 2年月	艾	金額(千円)	政	ф.	令和 3年度	予算額(千円) 🥻	A 管領(エロ) 政			和 4年度	金額(千円)	· 政		令和 5年度 	金額(千円)	
	策: 自殺	対策計画の				兼 自殺対	内 羽 対策計画の進行管理	理			自殺対	内 名 対策計画の進行管理	理		策: 自殺対策	内 計画の進行管	管理		
	自注		会委員報酬費				対策協議会委員報		28 5			策協議会委員報				協議会委員報		28 5	
			ルト等印刷製本費(補助対 161 研修 講師謝礼(補助対				用パンレット等印刷	刷製本費(補助対	195				旅貨 パンレット等印刷製本費(補助対				D刷製本費 (補助対	-	
	* 【政 * ゲー						•				【政策 自殺対	養】 策啓発消耗品		6	【政策費】			66	
実施	内容 * 50,0	000円×2回 研修2回				00 *				*		費に係る歳入)				こ係る歳入)			
(8)施行事項 費	用	(新修と四)	歳入]	千葉県	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金 66千円× (1/2) = 33千円			千葉県地		関に席る殿八/ 地域自殺対策強 × (1/2) = 33			千葉県地地		鱼化事業費補助金		
	1 千葉	県地域自殺	放入 対策強化事業費) = 75千円			0011					00	× (1/2) = 00	0111		001117	(1/2) —	00 1		
	100	1111 (1/2	7 - 10111																
7 m ()	- Mr \ ex		=1		00				204		<u> </u>	A =1				^ =		2014	
予算(決 国庫支	出金 補助	率		0 %		0 補助率		0 %	294		補助率	合 計	0 %		0 補助率	合言	0 %	294	
(9) 財源内訳	債 充当	<u> </u>		0 %		0 充当率		50 % 0 %	155		補助率 充当率		50 % 0 %		55 補助率 0 充当率		0 % 0 %	0	
その他	の財源	特会 口受益	並 □基金 □そ	の他		0 口特	寺会 □受益 □基金	金 口その他	139		□特:	会 口受益 口基金	金 口その他		0 □特会	□受益 □基	金 □その他	294	
(10) 人件費等	人件費				0. 1 1, 39	92			0. 51 4, 539					0. 1, 78				0. 2 1, 780	
嗎託 職員 臨時職員	賃金額					0			0						0			0	
事業費(予算(決算)額+正職 (11)単位費用	員人件費)		342.8千円/		1, 71	4	066	. 6壬円/回	4, 833					2, 0	74			2, 074	
(事業費/活動結果指 2. 事業の評価(DC			342. 0 → □ /	FI			900.	0TH/ 🖽											
評価項目	- IIIIIIII				市	前評価						東 後 証	価(評価結果に原	たい 小羊佐	2	Fs))		改善検討	
計画独口	国の「	自殺対策基本	本法」及び「自	3 殺総合対領			総合的な自殺対策	を推進するため!	に、市の既存事業	〇①事前確認:	 での想定			いし、以音系		6 //		以音快的	
(1)事業が今必要であ									策計画〜みんなが おいて家庭、地域	○②事前確認³	での想定	Eどおりでなかった	t:					〇要	
背景は?(事業の							に応じて専門機関 増やし、様々な分		ートキーパー」の が密接に連携し、	<想定どおりと	した理由	由/想定どおりで	でなかった原因>					〇不要	
			<u>を支え合う取り</u> PO、市民団(也の内容>			□①民間企業	NPO	、市民団体等で	は実施できなかった	こ <市実施	の具体的な内容	・必要性の理	里由>		
必	(理由)		で市が実施する 本が市しかない		められている							ければ実効性が たことで市民へ							
要 性 (2) 市が実施する必要	F +4 1 -1	口その他									た が政策・i	施策の目標の実現に貢献した							
あるか?	(理由)			が推進すべきである で進めることにより実効性が得られる			<その他の内容>					E保された は給基盤が確保され	れた				〇要 〇不要		
(市実施の必要性)) .=	口市が実施	・提供するこ スが保証される	とにより、						□⑦その他 <その他の内容									
			爰することによ		施策の目標の														
		口その他		244				08444		実施 . /~:	多加・協/	働の具体的な内容	容(又は今後.			h #1			
		業計画時に	参加・協働の 市民の参画有り			医療關(の具体的な内容 業所より委員の委	長嘱を行っている。			えられる場合には		O①当:	参加・協 初期待した以上	協働の程度・	内容		
参加	●②事	業実施時に	市民の参画有り市民の参画有り	IJ			New Hallon Par			1				0②当	○① 当初期待した以上 ○② 当初期待したとおり ○③ 当初の期待以下				
・ 市民の参加や市民と協 工夫しているか?	の協働を 04市		な活動と連携し							1						以下であった原田へ	○要 ○不要		
協働のエ夫しているか?	067 067		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											<期待した以上となった理由/期行			、60 ノに豚囚ノ	On'y	
*	<そのf	他の内容>								1									
			配慮の視	占							+ +	した目状がかた。			y m	境への配慮			
		然環境を生	かしている	M.			<u> </u>	取組む内容			美 施	した具体的な内容	〇①想知		定どおり				
環境・環境に配慮して事業	を進めて 口③手	き物と共存 賀沼を意識	している							1					定どおりでなかっ				
境境に配慮して事業 の いるか? 配慮	を進めて □4環 ■5そ		に貢献している	ত						1				<想定と	ごおりでなかった	原因>		〇 要 〇 不要	
慮		他の内容>								1									
	該当な									<u>L</u> _				\perp					
	現況値	直(a)(%)	目標値(b)(9		1(1) \$5 \$5 \$1 \$1 \$1 \$1 \$1		標値の妥当性のチ				達成状況		〇①目標値達成 〇②目標値未達						
(1)目標設定は適切か	n?			= (■②現況値と比べ	ベ実現性が乏	こ基づき設定してい としい値ではない ななけない	,·a		実績値(f)(%		達成率(%) (f/b×100)			成となった原因〉	>		O要 O	
		0	95 □③現況値と □④適当な比]④適当な比較	対象が有る場	直ではない 場合、比較対象例に	こおける目標値(と	と現況値の差)と	1								〇不要	
	対	策実施によ	る事業費削減		同等の水準で	じある	実施予定の対象	 策			実施状況	5	〇①想定事業費		事美	美費の削減対	対策について		
か	事業費	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 事業費削減額(d) □①国・県助成制 (千円) ■②現有体制での						5 P F I 等民間資 6 受益者負担	本の活用	実績値(g)(千P		対事業費(%) (g/c)×100	○②概ね想定事○③想定事業費		○①事前の想 ○②事前の想		なかった		
効 (2)事業費削減のエ夫	きをして 4	, 833	(千円) ■②現有体制での対 □③維持管理費の対 □④民間委託					分その他				.5, 2,	1		<想定どおり			O要	
ー いるか? 性		事業費削	減率(%)		削減の内容>					〈超過理由等〉	- 				1.00.000	~ = 1411		〇不要	
		△18	1. 97							1									
				\$ (2)			_	- 4 			海代小で	3	〇①目標値以上	/	煙値以上とかっ+	-理中/P橿	『値以下であった原	因>	
(3)目標値を実現する		E	目標値対事業費		費用単位		医の指標:目標値>			実績値(h)		対目標値(%)	○②目標値と同	程度	赤⊫以上となつ7	生田/ 日帰	ヾ⊫ 炒 Γ ℃めつに原	O要	
投じる事業費は通 (目標対費用)	□ IT 'N':	1. 97	F	%	10万円		F度の指標:(目標			天ң恒(n)		(h/e) × 100	○③目標値以下					〇不要	
2 声级冠压																			
	〇拡充 〇年	宿小 〇)結合 〇	休止	○座⊪	○事業壬はい	見直し へる	の他(事業字マケ	ど)										
3. 事後評価 〇現状どおり推進	○拡充 ○統	宿小 C)休止 評価コメン		〇事業手法!	見直し 〇そ	の他(事業完了な	ど)				改善策	及び展開方向	句				
	○拡充 ○紅	縮小 C		**		〇事業手法.	見直し Oそ 	の他(事業完了な	· Ł')				改善策。	及び展開方向	句				